

三重県環境学習情報センターリニューアル実施設計及び展示制作・更新業務委託企画提案コンペに係る質問及び回答

	質問	回答
1	企画書のページについて、概ね20ページ以内と書かれていますが、多少の増は認められるということでしょうか。	多少のページ数の増加は認めます。
2	プレゼンテーションについて、1社あたりの持ち時間を教えてください。	1社あたり30分とし、20分を説明、10分を質疑応答に充てるものとします。
3	研究室、分析実験室と展示コーナーとの関連性についてご教示ください。（展示体験の前にガイダンスをするのか？など）	研究室と分析実験室は、環境学習プログラム、環境に関する講座、打ち合わせなどの貸室として利用しています。 展示コーナーは、一般の方が自由に見学いただけます（学校などの団体での見学は事前のお申し込みが必要です）。展示の説明やワークシートでの学習も可能です。 研究室や分析実験室を利用した講座等の参加者は、講座等の前後で自由に展示コーナーを見学いただけます。 また、小・中学生、高校生を対象とした社会見学や修学旅行の受け入れを行っており、展示の説明やワークシートでの学習に加え、研究室や分析実験室を利用して、それぞれの対象に合わせた体験型環境学習プログラムを実施しています。
4	基本設計段階で救護、授乳室の必要性についてどのように言及されていたのかご教示ください。必要な場合は、面積等は決まっておりますか。	現在のセンターでは、基本設計の救護・授乳スペースに、具合の悪くなった方の休憩場所を設置しており、基本設計時から現在に至るまで、その区画を明確化する想定であるため、救護・授乳スペースの設置は必要です。 面積は決まっていますが、基本設計及び基本設計説明書の内容をもとに検討してください。
5	現状は企画展のスペースがあると思うのですが、企画展スペースは不要なんでしょうか。	現状の企画展示は入口付近に移設する想定です。（基本設計の図面番号6の全体平面図の入り口付近にある「館側企画コーナー（既設什器移設）」参照）
6	見学の想定人数について、シアターやデジタルコンテンツの参加人数の想定はありますか。	基本設計説明書p.12で、映像シアターの体験人数は最大20人程度としています。
7	運営状況についてご教示ください。アテンダントや展示ガイドをされる方はいらっしゃいますか。いらっしゃる場合その人数も教えてください。	現状は常駐スタッフ2名、解説等は希望がある場合に限って対応しています。以降も同様の予定です。
8	現施設のアンケート結果や利用状況など、情報がありましたら開示いただきたいです。年間入場者数(来館者数)や中心となる世代層はどこかご教示ください。	令和6年度の年間利用者数は21,990人であり、講座等の実施状況は、主催講座103回、出前講座107回、学校社会見学等49校、一般団体見学7回、フリー来館・貸室25回、交流会9回、行事等21回でした。令和7年度の年間利用者数は19,797人でした。主たる利用者は遠足で利用されている小学校高学年（4年生）です。
9	基本設計段階から、望まれる具体的な施策があれば教えてください。	三重県環境基本計画（令和2年3月）では、目標年度を2030年度とし、SDGsの考え方も取り入れながら、5つの環境施策パッケージ（「I 低炭素社会の構築」「II 循環型社会の構築」「III 自然共生社会の構築」「IV 生活環境保全の確保」「V 共通基盤施策」）を推進することで、環境、経済、社会の統合的向上が図られた持続可能な社会「スマート社会みえ」の実現をめざすこととしています。環境学習、環境教育は、各施策を推進する駆動力（エンジン）となる共通基盤に位置付けられているため、本業務は三重県環境基本計画に基づき実施するものとし、センターの基本コンセプト（県民に開かれた環境学習・環境情報発信の拠点）を維持しつつ、業務委託仕様書の「3 リニューアルの基本的な考え方」の内容に留意した実施設計及び展示制作・更新を行ってください。
10	環境学習のワークショップなど開催されていますでしょうか、また計画をされていますでしょうか。	センターでは「環境学習地域リーダー養成講座」、「環境学習地域リーダー養成スキルアップ講座」、「環境講座」、「こども環境講座」やイベントを開催しており、ワークショップ等を実施しています。